

トウ アウン さん  
ソー カウン モー さん  
チョ ミン ソー さん

職人歴 5 ヶ月

---

株式会社 兼藤

東京都品川区旗の台 6-28-8

Tel: 03-3785-6431



左から、トウアウンさん、ソーカウンモーさん、チョミンソーさん

「外国人技能実習制度」—中国、タイ、ベトナム等の若者を実習生として企業へ受け入れ、学んだ技術を母国の発展に活かしてもらう事を目的とした制度。トウアウンさん、チョミンソーさん、ソーカウンモーさんの3人はその制度を利用し、2015年の夏にミャンマーからやってきた。

日本に来て5ヶ月、初めての冬について「夏はミャンマーと同じくらい」「なのに冬寒い!」「休憩!と言われますが、動かないと寒いです。休みたくない(笑)」と語る3人。高温多湿で1月も30℃あるミャンマーで壁紙が使われるのは、エアコンのある街中のビルや外資ホテル。一般家屋ではペンキ塗装が殆どだという。「国が発展して、外国のホテルやビルが増えます。」「壁紙を張れることが、内装の仕事の中で一番大事。」「真っ直ぐにキレイに張れる人は、ミャンマーにはまだまだいない。」3人も、3年の実習を終えたら母国で壁紙の仕事をする決めてる。その頃にはビルやホテルが益々増え、仕事が沢山ある!と声を弾ませる。

職人見習いとして下地処理から習い、既に現場での壁紙施工も行っているようだ。「まだひとりではできません。先輩が計算や準備して、そこに張る。」とのこと。先輩である日本の壁紙職人たちは、3人にひとつひとつ指導しながら現場を共にしている。「日本の職人は、きびしいけどやさしい。ゆっくり、分かりやすく教えてください」「経験が多いので(壁紙を張るのが)速くて、キレイ!時間や指示を絶対守るよう、厳しく言われてます。」「壁紙を貼る技術は勿論、日本人流の仕事の姿勢も教わっているようだ。日本の職人の技術と生き様を、彼らが世界に広めてくれる日が待ち遠しい。



職人の技を、世界へ。

